

集落活性化県民討論会in福島

やながわ

やまふにゅう

伊達市梁川町山舟生地区

調査報告



TOHOKU
UNIVERSITY

2009年11月30日(月)
東北大学公共政策大学院
ワークショップ I プロジェクトA

目次

1. はじめに
2. 調査概要
3. 問題意識
4. 山舟生地区活性化案
5. おわりに

1. はじめに

東北大学公共政策大学院ワークショップ I プロジェクトAとは

「過疎地域の集落機能の維持向上策について」
というテーマのもと、

集落の**現場**に入り、

集落の**現状**・**課題**の把握をおこなひ、

課題に対する**解決策**を探っていく

2. 調査概要



山舟生地区の概要

山舟生地区

伊達市梁川町山舟生地区

- 人口 1,005人
(平成21年10月現在)
- 面積 11.75km²
- 高齢化率 30.8%
(平成21年10月現在)
- 梁川地域の中心部から
7km離れた中山間地域
- 特産品・・・羽山そば、
羽山漬、あんぽ柿
- 久保田あじさい祭り、
山車祭り



山車まつり



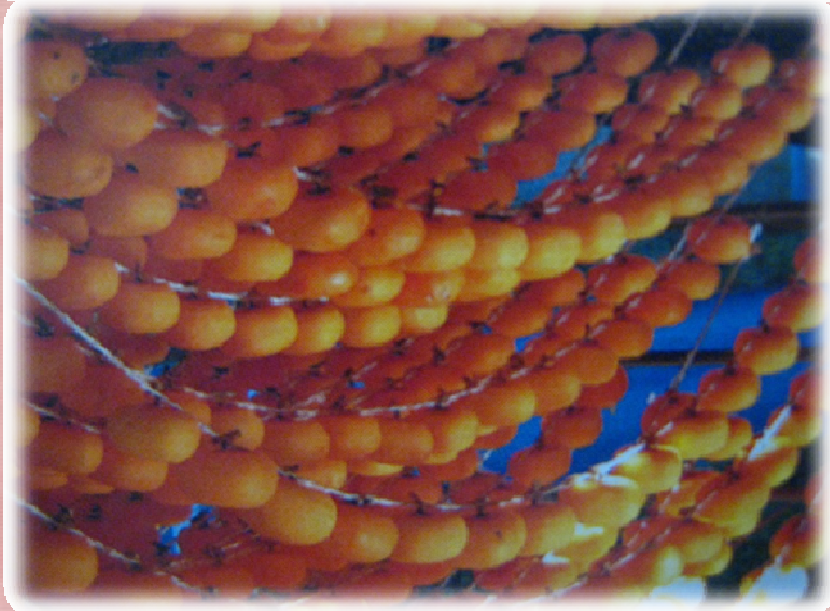
山車まつり



あじさい祭り



あんぽ柿



和紙づくり



田園風景



きれいな水



調査概要①

- 事前調査 (9/4)

集落代表者、伊達市役所職員

- 事前視察 (9/25)

- 意見交換会 (10/10,11)

山舟生地区住民の方々



調査概要②

- 意見交換会

①山舟生地区のよいところ・悪いところ

②10年後の山舟生地区

③山舟生地区をどのような地区にしたいか（将来ビジョン）

 ③で出た意見を1枚の地図（将来マップ）にする

意見交換会のようす

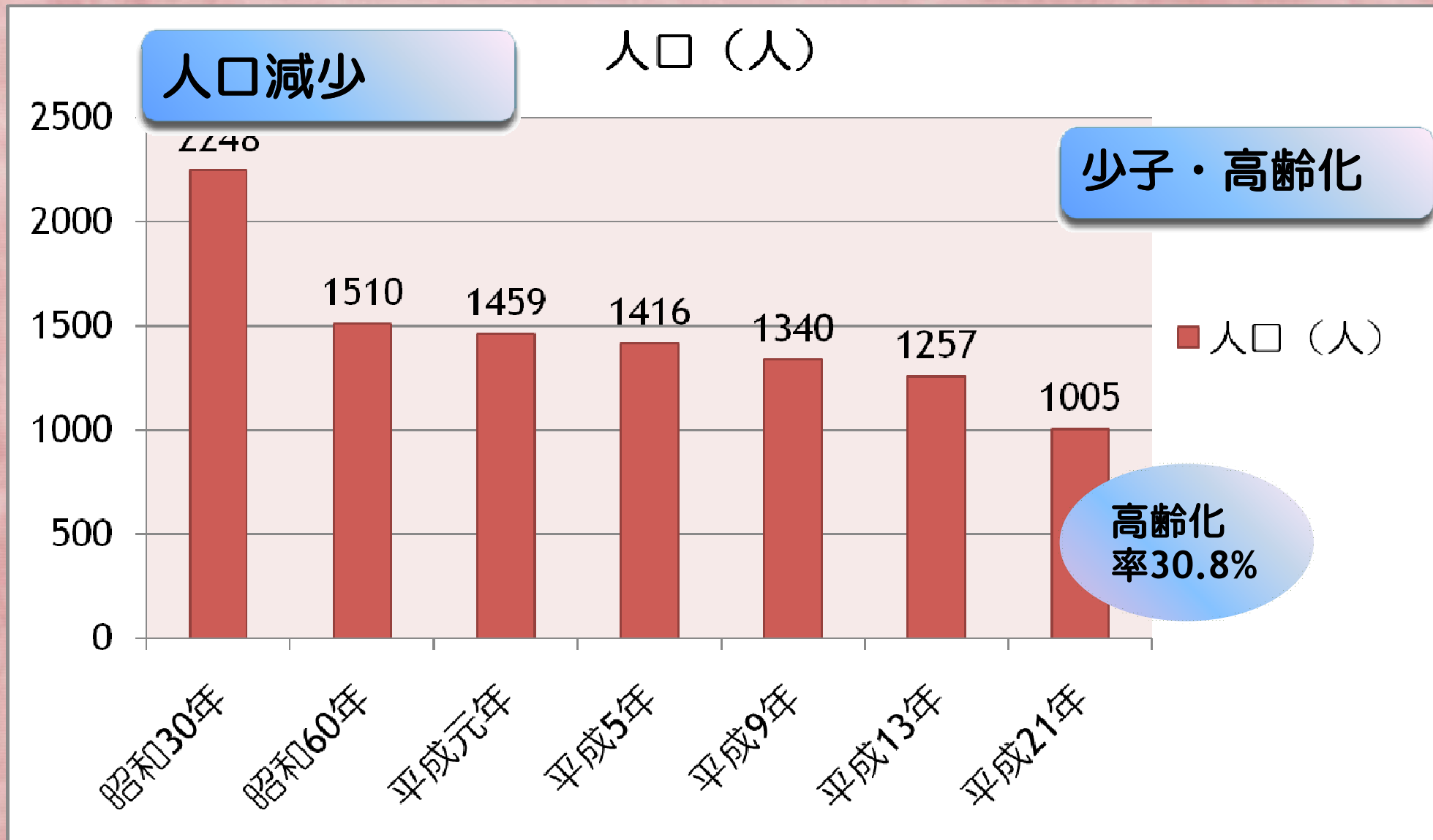


意見交換会のようす



3. 問題意識

山舟生地区の人口推移



伊達市役所職員ヒアリングより

少子・高齢化
が加速し、活
力が低下

働く場の不
足、若年世
代の流出

高齢化
の進展

情報通信
基盤の未
整備

結婚で
きない

悪循環

若年世
代の流
出

交通機
関が少
ない

明確な強みが
ない

子どもが
できても
友達でき
ない(少子
化)

雪が多
い

ヒアリング、意見交換会より①

～現在の山舟生地区～

【よいところ】

- 活気・熱意があるところ
- 人が温かい
- きれいな水、空気、緑
- 子育てによい環境
- 豊富な地域資源（柿、イノシシ、和紙、山菜、鉱泉など・・・）



・・・など

ヒアリング、意見交換会より②

～現在の山舟生地区～

【困っているところ】

- 老人の一人暮らし、二人暮らし世帯の増加
- 郷土芸能の存続
- イノシシによる獣害
- (行事面などで)地区の負担が大きい
・・・など

ヒアリング、意見交換会より③

～10年後の山舟生地区～

【よいところ】

- 和紙づくり、紙すきは続いている（はず）
 - あじさいや滝桜が成長している（はず）
- ・・・など



ヒアリング、意見交換会より④

～10年後の山舟生地区～

【困っている（であろう）こと】

- 人口が20%減少するのでは
 - 子どもがいなくなるのでは
 - 小学校が統合されるのでは
 - 行事が盛り上がらなくなるのでは
- ・・・など



山舟生地区の課題

①高齢者への対応

今後増加が予想される高齢者を地域でどのように支えていくか

②若者の巻き込み

地区にいる若者も「地域デビュー」できてない人が多い

③地域資源の活用

豊富な地域資源、多種多様なイベントがある山舟生
しかし 観光客がお金を落とすような経済循環がない

4. 山舟生地区活性化案



意見交換会より⑤

【将来の山舟生地区(将来ビジョン)】

- 和紙を活かしたい！
 - 高齢者をつなぐ役割の人をつくりたい！
 - 12地区の連携を強めたい！
 - 祭りを活性化させたい！
 - 年代を越えて語り合いたい！
- ・・・など



キツネガイ
ノシシ撃退

高齢者サロン

将来マップ

川沿いにアジサイ

桜ウォーキング

和紙で名刺

道路の整備

12地区の連携

宿泊型農業
体験施設

農作物の直売所

年代を越えて語り合い

安いインフラ提供

お金をかけない地域
づくり

スポーツで交流

温泉の実
現

森のレストラン

上手なPRで
山車祭り

消防団の盛り上げ

農作物の二次加工

ホテルの里

将来マップ実現のための 山舟生ビジョン

**世代の壁を越え、
皆が生き生きと生活できる
山舟生地区！！**

- 世代の壁を越える→横のつながり、縦の
つながりの醸成
- 地域資源を活かす→小さな経済循環を起
こす（お金を落とす仕組みづくり）

 **もっともっと元気な山舟生地区に！！**

山舟生ビジョン実現のために

- ①郷土芸能の成長、発展
- ②高齢者サロンづくり
- ③若者の巻き込み
- ④地域資源の活用

将来マップ実現のための具体策

【郷土芸能の成長、発展】

羽山太鼓は世代を越えてつながる大切な郷土芸能！！



将来マップ実現のための具体策

【郷土芸能の成長、発展】

①出張太鼓

各地に出張して羽山太鼓を披露（小中学生中心）

②郷土芸能姉妹都市提携

山車祭を開催している地域と交流

両者にとって
メリット
がある！！

③部活との連携（郷土芸能部創設）

高校、大学との交流／高校生は全国高等学校総合文化祭（2011年は福島県開催！）出場を目指す

④芸能部の創設

4月に推進室設置

高齢者が郷土芸能を練習、披露する機会をつくる

将来マップ実現のための具体策

【若者の巻き込み】

①地区内の若者主体で新たな組織づくり

12地区連携の「若者・地域活性化委員会」を組織

②若者主体による温泉を備えた民泊施設づくり

若者の組織を活用して具体的な活性化策をうつ

③外部の若者の取り込み

既存のイベントに若者要素を取り入れる

④若者による伝統芸能の継承

若者と先輩が連携して祭りの運営や太鼓の指導をおこなう

経済循環が
つくれる
のでは！！

取り組みによって得られる効果

- 他地域との交流によって山舟生ファン、応援団が増える



イベント参加者が増える

活気が増し、経済循環が生まれる

定住者も増える

- 地区内での世代間交流が増える



今まで以上に活気のある山舟生地区に！！

活性化案実現のために

- 5ヶ年計画の策定（資料参照）
- 1年ごとに計画の見直し&修正をおこなっていく

 **よいよいまちづくり運営を！！**

5. おわりに

山舟生地区に入って



豊かな自然



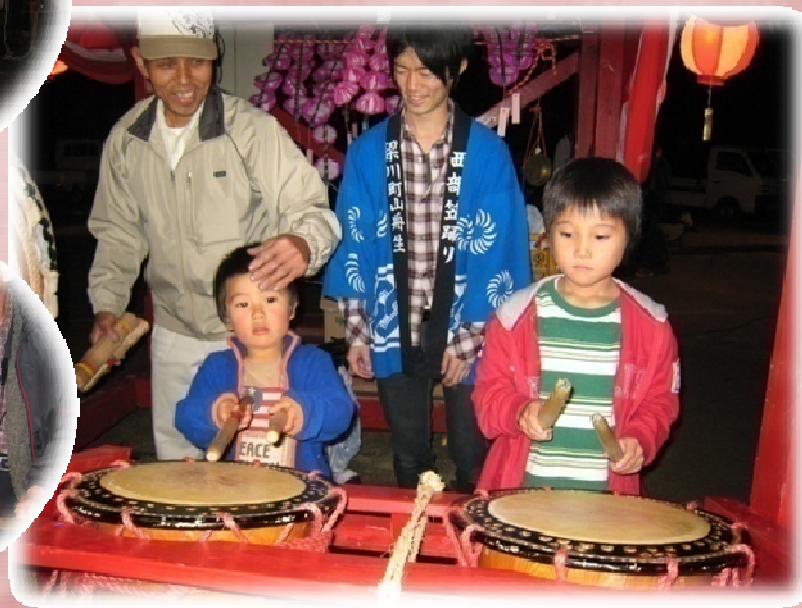
山舟生地区に入って



はじめての体験

山舟生地区に入って

郷土芸能の大切さ



山舟生地区に入って



住民の方々の情熱・温かさ



ご清聴ありがとうございました

東北大学公共政策大学院ワークショップIプロジェクトA



TOHOKU
UNIVERSITY